

# 「学修成果を可視化し質保証する試み」

## 全学プレゼンテーション2011-2015 ～大手前プレゼンフェスタ2016

- ・プレゼンテーションを通じて、学修成果を実証する。
- ・全学生の参加。
- ・学外評価者、公開。
- ・映像記録。

大手前大学

現代社会学部・総合文化学部・メディア芸術学部、健康栄養学部(2016開設)

# 社会人基礎力の育成

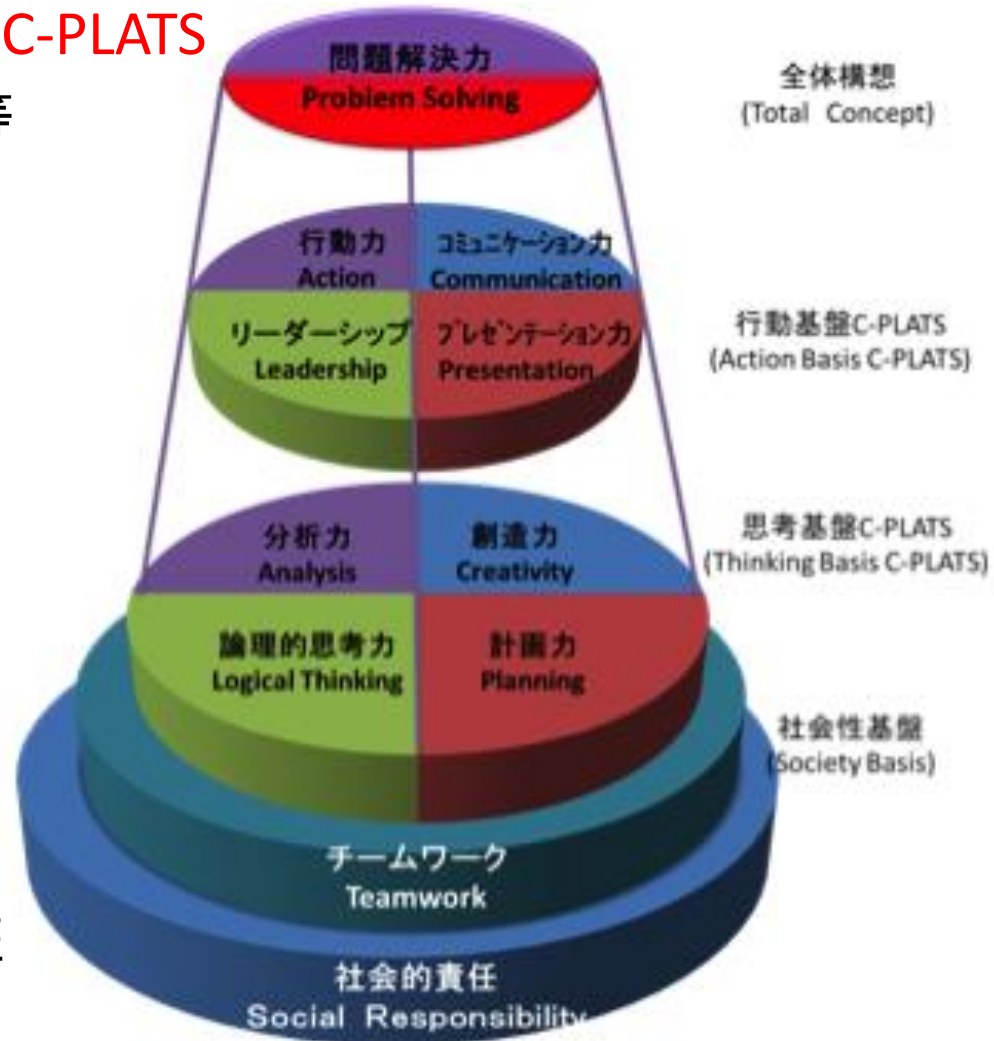
## 問題解決能力開発

- Communication, Presentation等社会を生き抜くコンピテンシー
- 専門教育を通じて能力育成
- PBL (Problem-Based Learning) (問題解決型学習)

## 就業力育成の取組み

- 映像ポートフォリオ (成長の記録をビデオに)
- 全学プレゼンテーション大会 「社会に貢献できる自分」
- プレゼンテーションを通じて、実証
- 学外の第三者評価の導入

## C-PLATS



# eポートフォリオで成長を確認する

課題レポート・論文・制作物・

プレゼン映像(映像として記録)

1年春学期 1分間スピーチ

1年秋学期 3分間プレゼンテーション+質疑応答

2年秋学期 5分間プレゼンテーション+質疑応答

3年秋学期 5分間プレゼンテーション+質疑応答



教員

教員評価

外部評価



教育ボランティア  
(学外の初対面の方)

自己評価

学生



eポートフォリオ  
(学習成果データの蓄積)

4年秋学期 7分間プレゼンテーション+質疑応答

# 全学プレゼンテーション



1、2、3、4年全学年において  
発表、質疑応答、映像記録、外部評価員



## 2015年度 全学プレゼンテーション関連日程

	キャリアデザイン I～II(1年) プレゼンテーマ: 「キャリアインタビューを 経て」	キャリアデザイン III～IV(2年) プレゼンテーマ: 「私のキャリア・プランニ ング」	ゼミナール(3年) プレゼンテーマ: 「ゼミナールを通じて学 んだこと」	卒業研究(4年) プレゼンテーマ: 「卒業研究を通じて学ん だこと」
11/21 ・28			教育ボランティア 面談 ◆映像ポートフォリオ撮影 ◆教育ボランティア	
12月 ～1月	クラス内発表(第 一次選考) ◆映像ポートフォリオ撮影 ◆教育ボランティア	クラス内発表(第 一次選考) ◆映像ポートフォリオ撮影 ◆教育ボランティア	クラス内発表(第 一次選考)	卒業論文、 卒業制作提出
	クラス代表者発表 (第二次選考)	クラス代表者発表 (第二次選考)		クラス内発表(第 一次選考) ◆映像ポートフォリオ撮影 ◆教育ボランティア
2/10			クラス代表者発表 (第二次選考)	クラス代表者発表 (第二次選考)
2/15	全学プレゼン大会 (午前)	全学プレゼン大会 (午前)	全学プレゼン大会 (午後)	全学プレゼン大会 (午後)

## 1, 2年、3, 4年第二次選考

クラス代表→2/15本大会にむけて 各学年6名選出



# 2015年度 全学プレゼンテーション大会 概要

- プレゼンテーション大会は、本学のディプロマポリシーのもと、グランドデザイン的最重要項目として、全ての学びを統合した成果をプレゼンテーションを通して可視化することを目的として行います。
- 今年度のプレゼンテーション大会は、全ての学生が参加し、発表を見て採点し、全ての過程を通して学ぶことを目指しています。

日時：2015年2月15日（月）9時00分～17時10分

## 発表時間等

- 1年生：発表3分・質疑応答3分
- 2年生：発表5分・質疑応答5分
- 3年生：発表5分・質疑応答7分
- 4年生：発表7分・質疑応答7分

## タイムスケジュール

09:00 集合

09:10 午前 開場(1・2年生入場)

09:20 開会

09:35 1年生発表(6名)プレゼンテーマ:「キャリアインタビューを経て」

10:15 2年生発表(6名)プレゼンテーマ:「私のキャリアプランニング」

11:25 審査・審査員概評

11:40 1・2年審査結果発表・表彰

11:55 昼休憩 (1・2年生退場)

12:40 午後 開場 (3・4年生入場)

13:00 3・4年生着席(順不同)

13:15 3年生発表(6名)プレゼンテーマ:「ゼミナールを通じて学んだこと」

14:45 4年生発表(6名)プレゼンテーマ:「卒業研究を通じて学んだこと」

16:19 審査・審査員概評

16:45 3・4年審査結果発表・表彰

17:10 閉会



# 全学プレゼン大会

## 各学年6名の代表者発表



# 検証

- 教育効果
- 実証
- 学外評価者の意見
- 教員の意見
- 学生の意見、学生の反応、負担
  
- 1、2年プレゼンテーションは有効→維持
- 3年: イベント重複による学生負担  
→4年イベントに参加
- 4年: 一次予選、二次予選、大会というコンペティションの弊害  
→クラス内発表を重視→一次発表のみとする。
- PPによる画一的な発表形式の限界  
→多様な発表形式
- 同日開催による学年間交流の奨励→維持

# 大手前プレゼンフェスタ 2016

- 2017/2/15開催(午前:1、2年 午後:3、4年)
- 1、2年: 体育館にてプレゼンテーション大会
- 3年: 4年発表に観客参加。質疑等を通じて交流。
- 4年: 各会場にて公開発表(卒業制作展同時期開催)

発表形式:口頭試問、ポスタープレゼン、ギャラリートーク・合評会等々(例:演劇ゼミは年末学外での劇場公演の収録ビデオ発表)

- 各セッションにて

①公開

②外部評価者(教育ボランティア)による評価

③映像記録

④学年間交流